

ディスクゴルフ安全対策マニュアル

■はじめに

海の中道海浜公園のオープンなエリアでの「ディスクゴルフ」は、安全が確保できた上でプレイできることをプレイヤーひとりひとりが認識し、万が一の危険性もないことをグループで確認してそのホールを使用すべきである。

また、私たちはそのことを一般の利用者や他地区からの参加者に伝える義務がある。

■常設ホールの使用許可、特設ホールの設定について

右図の常設1番ホールを例にした場合、11:00～1:00（左右各30度）に一般の入園者がいる場合にはホールを使用しない。

ただし、入園者に移動をお願いしたり、ティー位置を変更したり、グループ内で入園者をガードし安全が確保できる場合はホールの使用を認めるものとする。
※ガードについては万が一に備えてであり、明らかにディスクが飛んでくる可能性が高い位置に入園者がいる場合はそのホールを使用しない。

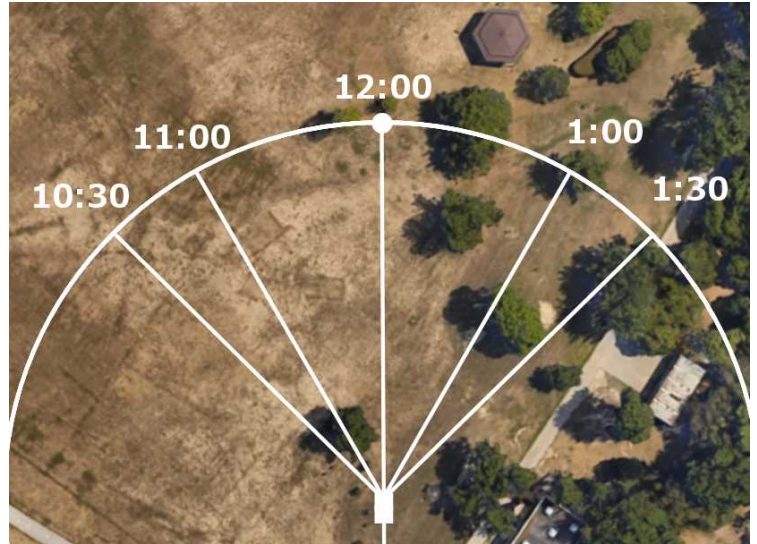
移動をお願いしたり、ガードに立つ場合は、ディスクゴルフのコース、競技方法、ディスクなどの説明を丁寧に言い、協力をお願いする。

プレイヤーのレベルによっては、10:30～1:30（左右各45度）まで制限範囲を広げる必要がある。

なお、ガードをする際は、確実にディスクを止められるようにディスクバッグや傘を持って立つこととする。これはガードするプレイヤーの安全を確保するためでもある。

特設ホールを設定する場合は、上記に準じて入園者がいないエリアを使用する。

制限範囲に園路が通る場合には、入園者の移動に注意し、必要に応じて交替で安全確認に行くものとする。



■ディスクが入園者の近くに落ちた場合

グループ全員で丁寧に謝罪し、ケガがないことを確認する。

他のグループに入園者がいることを伝える。

■ディスクが入園者に当たってケガをさせた場合

グループ全員で丁寧に謝罪し、ケガの程度を確認する。

ケガをされた方にどのような処置が必要でどのような対応が希望かを確認する。

大会、練習を即座に中止し、責任者が管理センター（092-603-1111）または企画課市民交流係に連絡し、ケガの程度に合わせた処置について指示を受ける。対応方法が分からないときには協会役員（会長、副会長、競技委員長）に問い合わせる。

ケガの程度にかかわらず、ケガをされた方の電話番号と名前を聞いておく、さらに責任者の電話番号を伝えておく。

※責任者とはディスクを投げた本人、または協会役員とする。

当日夜もしくは翌日に責任者がケガをされた方に連絡をしてケガの状況を確認する。

ケガの状況によっては会長、副会長、投げた本人で謝罪に伺う。ただし、相手方の希望があればそれに従う。

全ての対応が終わったら管理センター企画課市民交流係に報告する。

なお、ボランティア活動中のメンバーが起こした事故については保険対象になることがあるので市民交流係に確認する。

■おわりに

この「安全対策マニュアル」を使用することがないように、競技者全員が常に安全第一を心掛け、自分のスロースキルを過信することなく、ディスクゴルフの普及活動、個々のスキルアップに努めていきたいものです。